

こどもたちの未来に、私たちが今、できること。

2015年10月28日（ジュニア NISA）に寄せて

一人ひとりの日本人の「今日よりも、よい明日」という幸せな未来を築くために、世代を超えられる投資があるはずだ。このような想いを実現させるために設立されたコモンズ投信は2012年に経営者など民間の有識者に呼びかけて、「次世代育成の資金循環を考える委員会」を結成しました。そして、議論を重ね、秋口に当時の民主党政権の国家戦略大臣へ下記の3つを提言しました。

提言 1. 教育費積立と長期産業資本の促進のための税制措置：英国ジュニア ISA や米国 529 プランの日本での導入。

提言 2. 世代間の資産移転の拡大のための税制措置：教育資金に関して、贈与税の非課税控除額を拡大。

提言 3. 対話を通じた実感ある金融教育：企業や投資を通して見えてくる社会との対話により、実感ある金融教育の実現。

我々の提言に大臣は賛同し、事が進みそうでしたが、同年の冬に自民党政権へ交代します。三年間の年月を経て、超党の国家政策としてジュニア NISA 制度が来年から発足することは、大変感慨深いです。ぜひ、こどもたちの未来に備えたいと思う家庭に活用していただきたい制度です。

制度設計の基本である年間投資上限金額は80万円、譲渡益や配当金・分配金が非課税となり、18歳までは原則として払出しを行わないという三つの原則は高く評価しています。コモンズ投信は引き続き自社の直接販売を通じてはもちろんのこと、地域金融機関など私たちのビジョンに賛同してくださるパートナーとも手を組んで、ジュニア NISA を全国に広めることに邁進して参ります。

ジュニア NISA が国民にとって、よりわかりやすく使い勝手が良い制度として全国の家庭に広まるの期待が高いために設計の改正も求めます。投資可能期間は2023年までで、非課税期間を5年間と限定しているため、複雑な制度設計になっている側面も否定できません。5年という短期的な非課税期間および限定付き投資可能期間を撤廃して、19歳未満まで非課税と定める改正により制度の理解と実践を簡単にする重要性について政策関係者との対話に務めます。

次世代育成・世代間の資産移転を促進する税制度を政府が措置する前でもコモンズ投信は、民間からできることは民間からやってみようという試みで、2010年6月から未成年口座開設者に「こどもトラスト」という非課税分を想定した額をファンドとしてプレゼントするプログラムを設けました。コモンズ30ファンドの直接販売口座数の16%以上が未成年であるという実績は、全国の家庭から高い評価をいただいたプログラムであると自負しています。

こどもトラストは、ジュニア NISA が始まるまでの「つなぎ役」という位置付けだったので、新規のプレゼントは今年の12月をもって終了します。しかし、お子さまの将来のための資産を育むということもトラストの精神をしっかりと引き継ぎ、社会・仕事・お金の教育セミナープログラムはNPO、地域金融機関などとの協働によりレベル・アップすることに務めます。

「今日よりも、よい明日」は、一人ひとりの想いから始まります。幸せな未来をコモンズ投信と共に育むことに共感される方々は、ぜひ、色々な側面でご一緒させてください。これから末永くどうぞよろしくお願いたします。

コモンズ投信 会長 洪澤 健

次世代育成の資金循環を考える委員会メンバーの皆さまから寄せられたメッセージ（五十音順）

	<p>日本総合研究所 調査部 副理事長 翁 百合 様</p> <p>次世代の子どもたちによりよい世界を引き継ぐこと、未来を作る子どもたちを積極的にサポートすることは、私たち世代に課せられた課題だと思っています。</p>
	<p>フューチャーアーキテクト株式会社 代表取締役会長 金丸 恭文 様</p> <p>「次世代の人的資本」への投資こそ、社会に貢献できるジュニアに未来を託すバトンであり、我々のミッションでもあると思います。</p>
	<p>インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢 代表理事 小林 りん 様</p> <p>「この地球は、私たちの先祖から継承したのではなく、私たちの子供たち、子孫から、借りているのです。」というネイティブアメリカンの言葉を最近知りました。まさに今こそ、私たちが勇気ある決断と行動をすべき時期に差し掛かっているのではないのでしょうか。</p>
	<p>西村あさひ法律事務所 顧問 ボストン コンサルティング グループ シニアアドバイザー 五味 廣文 様</p> <p>私の親の世代が、企業戦士として稼いだ富を日本経済と私たちに投資してくれたことが、この国の繁栄をもたらしています。次の世代に私たちが残すべきものは借金ではなく、価値の源泉となりうる資産です。ジュニアのため、がんばりましょう。</p>
	<p>ビジネス・ブレイクスルー大学経営大学院教授 出口 恭子 様</p> <p>香港や米国では小中学生が仮想株取引や金資産形成を授業で学んでいます。次世代を担うジュニア世代にはお金を扱うこと＝罪悪ではなく、未来を創出する活動だと思って頂きたいです。ジュニア NISA はその大事な一歩となります！</p>



サントリーホールディングス株式会社 代表取締役社長 新浪 剛史 様

日本の未来は高い志をもち次世代の人たちが日本人としてのアイデンティティーをもってグローバルに活躍して貰いたいと強く感じています。現状、若い世代を犠牲にした高齢世代に厚い社会保障制度になっています。それは世代間格差を生み出しています。高齢化による社会保障は世代内での解決は十分可能です。選挙権が18歳から変わります。これを絶好のチャンスと捉え、より子育てや教育など次世代への投資が国や個人/企業の寄付も含めた資金が積極的に投じられる社会を是非とも皆さんと一緒に実現していきましょう。



株式会社ベネッセホールディングス 代表取締役副社長 福原 賢一 様

「今、小学校に入学した子供たちの65%は、大学卒業時には今は存在しない職業に就くだろう。」と、米国の研究者が予測しています。大きく変わる未来を生き抜く鍵は、「未来を自分で切り開く力」です。頑張れ！！



コムズ投信 代表取締役社長&最高投資責任者 (CIO) 伊井 哲朗

「次世代育成の資金循環を考える委員会」に続き、2014年6月には「個人資産形成に向けての提言」を楽天証券の楠社長他の皆さんとさせていただき、提言内容にはジュニアNISAの導入も盛り込みました。長年、制度導入を提言してきた立場としても、こんなに早く制度導入が実現したことにとっても嬉しく思っています。さて、このジュニアNISAのモデルの原型は、英国の「チャイルド・トラスト」でした。その導入の目的は、①国民が貯蓄や投資の利点を理解するのを手助けする。②親子で貯蓄の習慣を身に付けて金融機関と付き合うことを推奨する。③英国の全ての子供が大人になった時点で金融資産を保有しているようにする。④金融教育を補強する。としています。金融教育の重要性が背景にあります。金融教育は、学ぶことも大切ですが、慣れることはもっと大切だと考えています。勿論、投機の教育ではありません、むしろ「生きていくために大切なツール」であり、キャリアデザインやライフデザインを考えるとときにその有効性が発揮されます。こどもたちには、金融知識を身に付けて是非、未来を切り拓いて欲しいと期待しています。

こどもトラストプランを利用いただいている保護者の方からいただいたメッセージ

○埼玉県在住・40代男性・娘様（10歳）がこどもトラストを利用

5年前、娘がまだ幼稚園児だったときに始めたこどもトラストですが、いまや娘も10才、小学5年生になりました。

子どもの成長と歩調を合わせて、毎月コツコツ積み立ててきたコモンズ30ファンドの残高も徐々に大きくなってきました。

この間に入会時、3年後、5年後の3回、合計9,000円分のファンドのプレゼントもいただき、とても楽しいこどもトラストセミナーにも参加させていただいて、単にいい運用で残高を増やしていただく以上の満足感がありますね。

さらにはコモンズ30ファンドへの投資を通じて、コモンズSEEDCAPで社会起業家の応援にも参加できるのは本当に素晴らしいことだと思います。

7年後の大学進学費用のためにこれからもコツコツ毎月積み立てていきます。

○東京都在住・30代男性・息子様（8歳）がこどもトラストを利用

最初は、どうせ自分の名義で積立をするのなら、子供の名義で積立をしたほうがプレゼントが付いてきてお得でしょ、というだけの理由で始めたこどもトラストプランでしたが、プレゼントは勿論のこと、それ以上のものをたくさん頂いて感謝しています。こどもトラストセミナーには何度も参加させて頂き、世の中のことやお金のことなどを学ばせるきっかけになりました。それだけでなく、コモンズ投信のお姉さま方に可愛がって頂き、ありがとうございます。毎回、息子も大変楽しみにしています。また、夏休みこども絵画コンクールも、送ったハガキを社会起業家フォーラムで飾ってもらったり、facebookに載せて頂いたりして、親バカの私としてはとても嬉しい限りです。顧客層が高齢者中心の一般の金融機関とは異なり、コモンズ投信の顧客層に、子育て層などの若い世代が多いのは、そういう世代向けにいろいろなアクションを起こされているからに間違いありません。これからも是非、子育て世代を重視しているアセットマネジメント会社であり続けられることを期待しています。

○愛知県在住・50代男性・娘様（7歳）がこどもトラストを利用

“子どもたちの未来に私たちが今できること”このメッセージの発信がこどもトラストを始めたきっかけです。こどもトラストを始めて思ったことは子どもが1歳8ヶ月の時、こどもトラスト開始と同時に口座開設したので、こどもトラストセミナーを受講できる年齢に達するまで待ち遠しかったです。この間に、保護者が投資信託をはじめ金融商品の知識を得ることができたことはよかったですと思っています。子どものためという理由は、強い動機付けになりました。

こどもトラストセミナーに参加できるようになって2回目セミナーでは、慣れてきたのか、たくさん学んできたようです。学んだことに関するニュースがテレビで流れたときなどにこどもから話をします。大人が思う以上に子どもはちゃんと理解してことに驚きます。

機会を与えることができれば、子どもは飛躍することを実感しました。まだまだ小さい活動ですが、継続は力なりで少しずつこどもトラストセミナーを育んで行って欲しいです。